



衆議院議員  
**長島昭久**

お友達になってください!



公式LINE

# 「デフレ脱却」の最大チャンスをついてはならない!

わが国経済は、アベノミクス路線を堅持し、コロナ禍にあっても金融緩和と大胆な財政出動により経済を下支えた結果、長らく 500 兆円前後に低迷してきた名目 GDP はようやく 600 兆円に達し、6 月の実質賃金が 27 か月ぶりに前年比プラスになるなど、30 年間続いたデフレ脱却の大きなチャンスを迎えています。

## 利上げは時期尚早！ 日銀のミスは、政府がカバーせよ！

ところが、8月2日の日銀の利上げ（総裁は更なる利上げをも示唆！）に端を発し、株式市場は極めて不安定な状況に陥り、日本経済の先行きに対する不透明感が急速に高まってしまいました。

ここで政策選択を誤れば、再び企業の投資意欲や生活者の消費マインドを冷やしてしまい、危急の課題というべき安全保障政策や子育て世帯への支援はもとより、近い将来、社会保障の持続性すら危うい状況になることは火を見るよりも明らかです。



▲8/6付 読売新聞 朝刊

## デフレ脱却へ明確な政策指針を示した「骨太方針 2024」

日銀法にも明記されているように、日銀による金融政策は政府の財政政策と整合性を持ったものとしなければなりません。

8月2日の記者会見で、鈴木俊一財務大臣は「まだデフレ脱却に至っていない」と表明したばかりであり、先月閣議決定した2024年度の『骨太の方針』

### 長島昭久プロフィール

自由民主党・衆議院議員（7期目）。東京30区（府中市・多摩市・稲城市）選挙区支部長。  
自民党 政務調査会副会長、国際局長代理、児童の養護と未来を考える議員連盟会長。衆議院 安全保障委員会委員。  
日本スケート連盟会長、日本スポーツ協会参与、東京都銃剣道連盟会長、東京都ゴルフ連盟相談役、東京都軟式野球連盟会長。  
昭和37(1962)年2月17日生まれ。寅年。慶應義塾大学大学院修了。米国ジョンズ・ホプキンス大学で修士号取得。  
これまでに、防衛大臣政務官、首相補佐官、防衛副大臣を歴任。趣味は大相撲・スケート観戦、読書、水彩画。妻と娘2人。

(裏面につづく)

には「官民挙げて積極果敢な国内投資を行い、企業部門を貯蓄超過から投資超過へとシフトさせる」と明記されています。

しかし、本来マイナスであるべき企業の貯蓄率は現在もプラス（つまり、投資が鈍い状況）が続いており、グローバルな景気減速懸念の高まりでむしろ足元の企業貯蓄率は高まっています。

## 日銀の金融政策は、 政府の財政政策と整合性を！

現状を踏まえると、日銀の先の利上げ判断は拙速であると言わざるを得ず、デフレから完全に脱却するまでは金融緩和政策を続けることを強く求めます。

加えて、政府には、企業貯蓄率がマイナスになる（企業の投資意欲が旺盛になる）まで、必要な財政出動を躊躇しないこと明確にし、早期に大型の補正予算を編成することを求めたいと思います。

なお、補正予算の中身は、物価高に翻弄される家計の支援および資材価格の高騰や人手不足に喘ぐ中小規模事業者への支援をはじめ、『骨太の方針2024』で例示された社会課題の解決（脱炭素、経済安全保障、ヘルスケア等の生活の質向上、人口減少・高齢化対策等）に重点を置くべきであることは言うまでもありません。

## 日銀法を改正し、 日銀を“国際標準の中央銀行”に！

最後に、日銀法の改正を提案したいと

思います。今回の拙速な利上げをめぐる日銀の朝令暮改（7/31 日銀総裁の強硬姿勢と 8/2 に副総裁が軌道修正）は、自らの“独り相撲”で却って金融市場を混乱させ、日本経済の先行きを不透明なものにしてしまいました。

そこで、私は、日銀の機能として、現行の「物価の安定と信用秩序の維持」とともに、他の先進国の中央銀行と同じような「経済の持続的な成長の実現（雇用の拡大）」を加えることを求めたいと考えます。



## すべては「未来に誇れる日本」 のために

いずれにしても、ようやく GDP も 600 兆円を超え国内投資も 100 兆円を超えた日本経済の成長軌道をさらに力強いものとするため、日銀の金融政策と政府の財政政策を整合性あるものとしていくために、9 月の総裁選挙、さらには 10 月にも予想される衆院解散総選挙に向けて、外交・安全保障やこどもの未来保障に加えて経済政策にも真摯に取り組んでまいります。

衆議院議員 長島昭久 揮

